

増田紙器工業 株式会社

対象類型 立体造形
事業類型 設備投資のみ
主たる目的 技術革新

多種多様なニーズの対応を目指し、最新の糊付け機を導入



- 1 1／これまで手で行っていた作業が自動化でき、様々な形状にも対応可能になった。
2 2／3台の画像検査機能により糊付けと組立工程の不良品発見が容易に。 3 3／自動化されて大幅に時間が短縮された色合わせ作業。 4 4／福井国体のメダル用容器にも採用された自社の製品。

顧客ニーズに応えるため、一貫生産体制をさらなる高みに。

様々な包装資材の印刷・成型から糊付け、組み立てまでを一貫生産で行う増田紙器工業。多種多様なニーズに対応するサイズ・仕様のパッケージを製造している。しかし、現有糊付け機では、能力的に対応できる種類が限定されるため、大型や変形のパッケージにおいては、糊付けと組立を手作業で行っていた。そのため、作業効率は上がらず、品質を保つことに課題があった。

そこで、あらゆるサイズの糊付けや組立工程を自動化できるフリーサイズ糊付け機を導入。これまで展開寸法が左右850mmまでしか糊付け出来なかったものが、1100mmまで対応可能に。また、作業工程の約90%をコンピューター操

作で自動化することに成功。製品ごとの型枠切替にかかる時間が約半分に短縮され、大幅な生産性の改善が見られた。さらに3台の画像検査機能の装備により、不良品が自動感知で排出されるようになったことで不良品混入率が0.1%未満となり、品質の安定化に加えコストダウンにも貢献した。設備導入により同業他社との差別化が図れ、企業競争力の強化にもつながった。また、顧客の様々なニーズに対応可能となったことで、今後さらなる市場拡大も見据える。

注目すべき成果

手作業による工程を自動化し、生産性が3倍以上に。

設備導入により、自動化で対応できる規格・仕様が拡大され、以前まで糊付け工程の3割をしめていた手作業工程を1割までに削減。作業員の熟練度に左右されず、経験の浅い作業員でも対応可能になり、1日の生産性が3倍以上になった。

注目すべき成果

画像検査機能により、不良品混入率が大幅に改善。

これまで目視で行っていた不良品チェックを3台のカメラで行うことで、印刷不良や糊付け不良などを防ぐことができ、不良品混入率が0.1%未満に。品質安定だけでなく、製造経費が削減されコストダウンにもつながった。

今後の展望

県外同業者との競争力を高め、市場拡大を目指す。

発注側のニーズに迅速な納期対応ができる体制が整ったことで、受注の増加や新規取引先との取引拡大も可能に。パッケージで商品価値を高められるよう、さらなる設備投資も視野に一貫生産体制を強化していく。

ものづくり専門員から一言

**“攻め”の経営が生みだす
“新規性”が産業を支えて行く。**

“パッケージで商品価値を高める!!”目標は、特許戦略が支え。原料が野菜のベジタブルインキの採用は同社の理念である“人に優しい、環境に優しい企業”を目指す実践の一環。ものづくり補助金活用により、製造コストが低下し、不良率激減。“攻め”の経営が次の展開を目指して行く。

こんな会社です!

オンリーワンのパッケージ作りにこだわり、日々前進。

当社は大正7年に紙器製造業として創業以来100年以上、食品からアパレル製品など多種多様な包装資材を扱ってきました。現在では企画デザイン、製造までの一貫生産体制を構築。お客様のあらゆるニーズに対応できるのが強みです。パッケージが商品の外装だけでなく、コミュニケーションの重要な媒体としての役割を持つようになった昨今、いかに個性のかつ魅力的なパッケージを作れるかがこれまで以上に重要だと考えます。今後も当社の強みを磨き上げ、商品価値を向上させるパッケージを目指し、研究・開発に努力していきます。



バラエティに富んだ紙箱を一貫生産で手掛ける。



代表取締役
増田 俊幸さん



本社・工場

増田紙器工業 株式会社

代表者：代表取締役 増田 俊幸
創業：1918年(大正7年)5月1日
設立：1965年(昭和40年)4月28日
資本金：1,500万円

従業員数：60名
事業内容：企画・デザイン、各種印刷、各種紙器、その他包装資材の製造販売

本社：〒915-0802 越前市北府2-5-10
☎ 0778-22-1135 FAX 0778-23-7075
E-mail：m-shiki@masuda-package.jp